

# 新世代のアーティストたち

アートは世界を変えられるか？この問い合わせ3.11以後、改めてアーティストたちに突きつけられている。「こんな時代」にアートに何ができるのか？そして、私たちがアートを見る意味とは？

濱野千尋  
Interview & text by Chihiro Hamano

## Chim↑Pom

(アーティスト集団)

### アートが突きつけるリアル

アーティスト集団Chim↑Pom（チムポム）は、二〇〇五年に工  
業イ、卯城竜太、林靖高、水野俊紀、  
岡田将孝、稻岡求の六名からなるメ  
ンバーで結成された。渋谷・センタ  
ー街に生息する、殺鼠剤への耐性を  
備えたネズミ「スーパーラット」を  
捕獲して人気ゲーム・キャラクター  
「ピカチュウ」風の「カワワイイ」剥製  
にした作品『SUPER RAT』（二〇  
〇六）が実質のデビュー作。都会で  
たくましく生きるネズミは自分たち  
の自画像でもあるという。以来、社

つて世間を騒がせ、「アートなのか、  
悪ふざけなのか」と良識派の眉間に  
深い皺を寄せさせている。

「社会的な作品は多いですが、政治  
的なメッセージを発していこうとか  
いう考えはもともとなくて。アート  
をそういうものの目的にすると、  
目標が達成された瞬間に作品が終わ  
ってしまうから。Chim↑Pomは、  
社会には反射神経で反応して  
行動派であることも間違いない。そ  
れが『悪ふざけ』と言われても、否  
もないから、基本的には個人の話じや  
いられない。メンバーひとりひとり

城竜太は言う。卯城は高校を中退し  
た後、音楽を志してバンド活動を続  
けていたが、現代美術家の会田誠に  
出会って方針転換した。そして、バ  
ンドを結成するのと同じように、面  
白いと思うメンバーに声をかけCh  
im↑Pomが誕生した。

「ただ、うちらの作品が社会性を帶  
びるのは、ある意味、当たり前なん  
ですよ。六人で話し合う以上、すで  
にそこに小さな単位の社会があるか  
ら。全員が面白いと思わないといけ

が、自分に関係がある」と思えるテ  
ーマは、ほとんどの日本人に関係が  
あるはずで。自分に関係があること  
だから作品に強度が増して、問題の  
扱い方もリアルになる」

3・11以後、Chim↑Pomの  
活動は、さらに過激さを増したよう  
に見える。いつものように渋谷の街  
を歩きながらアイディアを探していく  
ときに思いついたという『LEVEL  
feat.明日の神話』（二〇一一）は、

渋谷駅構内に展示されている岡本太  
郎の壁画『明日の神話』に、福島第  
一原発の原子炉建屋の絵を付け足し

たくまごへ生むるネズミは自由たら

心田園園(ひのいはん)のやうに。」

「(ほのいはん)のやうに。」

これが「悪ふざけ」と言われても、否

ら。全員が面白いと思わないといけ

ないかい。基本的には個人の話じや

る。全員が面白いと思わないといけ

る。全員が面白いと思わないといけ

る。全員が面白いと思わないといけ

渋谷駅構内に展示されている岡本太

郎の壁画『明日の神話』に、福島第

一原発の原子炉建屋の姿を描かれて

いて撤去される騒ぎになつた。

「福島と東京をつなぎ、原発問題を歴史に接続するにはどうしたらいいか。それには『明日の神話』を引用して、被曝の歴史を見せなきやいけない、と。売名行為って批判されたけど、どうでもいい。一〇年後にそんなこと言つてる人いないでしょ?」

LEVEL 7 feat. 明日の神話(2011)  
© ChintPom  
Courtesy of Mujin-to Production, Tokyo

3・11みたいなでかいことがあつたときには、当時の日本人は何をしたのか、日本のアートは何があつたのかというのは、必ず未来から検証される話であつて、大事なのは行動と作品だから」

『REAL TIMES』(110-1) は福島第一原発や被災地に足を運び、ボランティア活動を行いながら制作した映像作品だ。

「福島第一原発事故が起きたとき、マスコミは独自取材をしなくなり、情報は政府と東電の発表しかなくなつた。そのとき自分たちにできることを考えたら、アートをメディアにすることだった。マスコミも政治も機能しないとき、アートだけは機能したんです」



# クワクボリヨウタ

(アーティスト)

中でケータイでしゃべってるのを見  
てイヤだなと感じたら、そこをダイ

ヤザル、エンビフといったありふれ  
た日用品の数々。しかしそれらが作

ちんばむ 二〇〇五年に当時全員二〇代の六人で結成されたアーティスト集団。「生と死」をテーマにした作品や、現代社会に全力で介入した社会的メッセージの強い作品で評価を得、国際展への参加など海外からの注目度も高い。作品集「Chim↑Pom」(河出書房新社)など。



photo: Hiroyuki Matsukage

自分たちは、アートを始めるまで、アートに詳しい人間じやなかつた、と卯城は率直に言う。  
「美術を勉強していなかつたから、美術的な表現方法は知らなかつた。Chim↑Pomは、誰にでもできる技法を使うことを大切にしている。こいつらでもできる、誰にでもできるんだ、ってアピールしないと。というのは、Chim↑Pomみたいな、束縛されずに楽しんで好きなことをやって生きる自由な人たちが増えたら、それだけで日本は変わると思うんですよ。それがいちばん簡単な、社会の考え方だと思ってる」



SUPER RAT (diorama) (2008)

© Chim↑Pom/ Courtesy of Mujin-to Production, Tokyo  
photo: Yoshimitsu Umekawa

REAL TIMES (2011)  
© Chim↑Pom  
Courtesy of  
Mujin-to Production, Tokyo

